

横浜市立日枝小学校4年3組 『大岡川かべ新聞コンテスト』 結果発表!

小さな新米記者の皆さん、
秀作、力作、珍作、迷作……
応募してくれて、ありがとう。



元氣一杯の日枝小学校4年3組の子どもたち。大岡川臨にある舞田公園でゴミ拾いをして、どんなゴミの種類があるのか分析したり、同公園内のアークパークにどんな生き物が生息しているのかを調べたりしました。こんな自主的な活動を当NPOは応援していきます。

4年生の国語のカリキュラムで学習・実習する「かべ新聞」の作り方。大岡川についての環境教育出前授業で横浜市立日枝小学校4年3組と結びついた当NPO。ゴミ拾いの活動や大岡川の自然を体感する活動を通じて、大岡川についてのかべ新聞にすること、子どもたちが各々作成する大岡川についての新聞でコンテストを

開くことを提案させていただき、実施に至りました。ただコンテスト形式にするだけではなく、かべ新聞のテーマの見つけ方、写真の撮り方、レイアウトのコツ

についてなども出前授業を行ないました。他の大岡川流域の小学校にも同様の出前授業を来年度から実施計画しており、その内容や手法についても同時に模索させていただきました。



見事グランプリを受賞した中澤凛々さん

身近な大岡川の自然をテーマにしたり、ゴミ拾いについてのレポートなど、子どもたちの視点から作成された応募作品。楽しいイラストが描かれたもの、折り紙を貼り付けた立体的なもの、写真を切り貼りしたもの。そんな多くの力作の中から、大岡川ニュース編集部員全員で審査させていただき、グランプリ1点、佳作3点を選出しました。グランプリは中澤凛々さん、佳作は吉村育亮さん、関あいりさん、田畑孝輔さんに決まりました。

次年度はより多くの参加を募ります!

次年度に向け、当NPOでも「よこはま夢ファンド」への寄付を集め、それを財源にして、学校サイドからも気軽に出席授業の依頼ができるようにします。大岡川流域の小学校に通う多くの子どもたちが、川に親しみ、自分たちの大岡川発見に結びつくような活動へと発展させていきます。



グランプリ 中澤 凛々さん

学習新聞

魚	ギ	海	ス	は	い	る	う	だ	ア	ウ	カ	ビ	も	た	と	岡
や	ン	の	チ	ク	ゴ	な	。ラ	イ	を	し	し	コ	他	の	こ	川
鳥	と	を	水	ツ	え	ん	ミ	プ	そ	ス	て	し	ミ	に	ど	せ
が	人	く	に	ク	ず	だ	は	フ	の	チ	い	つ	て	モ	お	い
料	理	も	つ	り	と	、	び	太	チ	ニ	ク	ビ	に	拾	、	そ
と	海	か	こ	名	マ	の	グ	ル	で	い	る	ラ	た	田	っ	活
な	水	し	。を	イ	を	熱	で	ふ	キ	ル	と	ス	と	さ	い	動
こ	い	ま	じ	か	ロ	す	て	く	い	ふ	、	チ	読	ん	の	P
出	っ	う	ら	え	ア	が	り	て	の	ろ	よ	ク	で	な	ひ	T
こ	し	。に	て	ア	が	り	て	の	ろ	よ	ク	で	な	ひ	T	も
く	よ	そ	考	う	た	て	い	よ	ん	は	く	ば	く	ん	の	。P
る	に	水	に	1	年	間	で	回	収	し	た	け	れ	ど	う	ア
。の	を	た	。1	年	間	で	回	収	し	た	け	れ	ど	う	ア	イ
ど	み	水	だ	ア	ラ	ゴ	ミ	203.99	kg	か	し	年	間	も	チ	た
も	こ	鳥	よ	紙	ゴ	ミ	170.87	kg	入	た	間	も	チ	た	う	ら
、	お	や	ッ	カ	ン	ピ	ン	、	こ	の	8	ツ	ク	さ	う	、
ア	ン	魚	で	パ	ト	ボ	トル	159.79	kg	こ	の	8	ツ	ク	さ	う
ラ	だ	、	い	タ	バ	コ	の	8.754	kg	い	左	0	ト	。ら	を	ゴ
ス	。ち	る	す	い	が	ら	(8090本)	な	。0	し	ゴ	に	教	ミ	、	豊
チ	を	し	バ	。の	他	247.47	kg	い	。K	ま	ミ	、	え	に	1	田
リ	の	カ	イ	合	計	790.9	kg	の	。g	し	。大	て	つ	と	さ	開

大岡川の中から見つけたゴミたち

マイクロナスチックのおそろしさ(四)

応募作品を本紙編集部員で審査しました。今後はこのコンテストにスポンサーも集めて、多くの子どもたちがのびのびを創る大岡川かべ新聞コンテストへ発展させようという計画です。

総合建設業 **株式会社 キクシマ**
www.kikushima.co.jp

注文住宅建築・集合住宅建築・教育施設建築・福祉施設建築・商業施設建築
耐震補強工事・リフォーム・リノベーション・鉄骨製作工事

☎ 0120-96-6663 本社:横浜市港南区港南台4-39-7

横濱 いせぶら 川本屋商店
YOKOHAMA ISEBURA POUND

合名会社川本屋商店
横浜市中央区伊勢佐木町 6-146 ☎045-261-7652

「4年3組が総合学習の授業で何を学んできたか」のストーリーが分かりやすく解説されているところ、またそこに「自分の考え」と「外への呼びかけ」がきっちり盛り込まれているところが素晴らしい。読みやすい字と色分けなど、満場一致のグランプリでした。